

## 【飯田信用金庫行動計画】

全ての職員がその能力を十分に発揮できるような雇用環境の整備を行うとともに、次世代育成支援について地域に貢献する企業となるため、次のように行動計画を策定する。

### 記

1. 計画期間 令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間
2. 目的 職員がその能力を発揮し、仕事と子育てとの両立を可能にする雇用環境の整備
3. 内容

#### 【目標1】 子育てをする職員、若手職員のキャリア形成支援

- 令和6年4月～
- ・育児休暇から現職復帰に向けた支援（グループ間の応援体制など）
  - ・金庫内における仕事の相互理解、業務体験（庫内インターンシップ）を通じて長期的かつ自立したキャリア形成を支援する
  - ・所属長による1 on 1面談（キャリア面談）を毎年実施することで、組織・所属長が職員のキャリア感や要望を共有し、なりたい姿に向けた後方支援を行う

#### 【目標2】 職員のワークライフバランスを確立するため、休暇取得などを促進し柔軟な働き方を取り入れる

- 令和6年4月～
- ・定時退庫運動の実施（各部店30日以上/年）
  - ・有給休暇だけでなくリフレッシュ休暇、アニバーサリー休暇などの特別休暇の取得促進（部店ごとの取得進捗を毎月庫内LANへ掲示し意識付けする）
- 令和7年4月～
- ・業務改革による業務の見直し・効率化・簡素化
  - ・計画的な時差出勤制度を推奨（定期的に事例紹介する）

#### 【目標3】 学生に対するインターンシップ等による就業体験の機会提供や、金融教育やボランティア活動を通じた地域貢献活動を継続して行う

- 令和6年4月～
- ・金融機関の業務に対する学生の理解を深め、実際の仕事をイメージできるようなインターンシップの企画・運営
- 令和7年4月～
- ・地域の学校や公民館活動等に対し金融教育・講演会など企画・実施
  - ・学生だけでなく地域住民に向けSDGsや地域の民俗芸能を普及するための活動（ボランティア参加、南信州民俗芸能パートナー企業としての活動）を継続的に実施

以上